

---

# BLUE × BLOOD

ジュン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

BLUE×BLOOD

### 【Nコード】

N1042Z

### 【作者名】

ジュン

### 【あらすじ】

超絶美少女(?)な少年の冒険ファンタジー！ - 「彼女がいない世界など存在する意味はない」 - 愛がうんだ憎しみ。立ち向かう少年。愛、友情そして親子の絆が織り成す物語。

この作品はモバスペbookにも掲載しています。

## × P R O L O G U E

### × P R O L O G U E

「ふう…。」

一息ついて空を見上げる。

輝く星。静寂に包まれた暗闇。辺りにただようのは…

血生臭い空気。それは地面に転がる数人の男達から発せられている。

(臭いし、体は重いし最悪だ…。今日は宿にとまろう。)

そう決めて歩きだそうとしたが、足がもつれその場に転ぶ。

「…はあ…。野宿でいつか…。」

意識は闇へと落ちていった。

「おいおい。見てみるよ。山賊の死体だ。」

「ここら辺も物騒になったな。つと、おい待て。こいつまだガキじやねーか。」

山賊達の死体にまじっている他にくらべ明らかに小さい死体。マントにくるまっついていて、顔は見えないがまだ十五、六だろう。

「おい。そのガキ、今うごかなかったか？」

「ああ、ちよっとまで。」

そういって、一人の男がマントをぬがす。

「…おいおい。こりゃあなんてこった！女の子じゃないか。まだ生きてるぞ。」

「すげえ別嬪だなあ。あ、そつそつじゃなくて、どーするよっ！血だらけじゃねーか！」

「どーするもなにも俺達じゃなにもできねえ。とりあえずカエデ先生のところへ連れて来うや。」

「ああ。怪我してるかもしれねえし、そおつとな。そんでもって速く。」

二人の男は割れ物を扱うように少女を運んだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1042z/>

---

BLUE × BLOOD

2011年12月3日22時46分発行